

令和4年10月16日、青山公民館にて開催されました。
三木市からは市長、副市長以下22名の幹部、青山地区からは、まちづくり協議会運営委員22名が出席し、約1時間30分の懇談を行いました。また、6名のオブザーバー、6名の傍聴者がありました。

青山地区からの意見・提言、及び三木市の回答、当日の議論の主内容は以下の通りです。なお、紙面の関係上、意見や回答を要約、一部割愛しています。

1. 青山地区及び周辺エリアの将来ビジョンについて

青山

県立高校統廃合後の、統合校の誘致、あるいは青山活性化に向けて跡地利用についてどのような方向性を考えているのか。また、青山7丁目開発は、三木市のリーダーシップを期待しているが、現状はどのようなものか。

三木市

三木市3校の統合については、県教育委員会が設置する「発展的統合に向けた検討委員会」で検討される。青山7丁目の開発については、基本構想を策定し、課題解決に向けた住宅団地の活性化に取り組んでいく。

2. 出産、育児に係る市のサポート体制について

青山

安心して出産、育児のできる環境づくりとして、産前産後のヘルパー助成の導入、命を生み育むことに対するサポートの充実を提案する。また、公園に幼児用の遊具の設置をお願いしたい。

三木市

産前産後のヘルパー助成として「養育支援訪問事業」を実施しているほか、「妊婦訪問」や「みっきたいまびよサロン」で、サポートを行っている。また、公園の遊具は、老朽化したものや、破損等による危険なものから行う。

3. 青山地区におけるデジタル化の推進について

青山

地域に委ねられている回覧および配布の資料を、デジタル通信の導入により即時に周知することができる。地域によるデジタル化推進は十分に検討する価値があるのではないか。

三木市

デジタル化の推進は、本市においても他市の状況をみながら検討を進めている。現在交付している区長協議会交付金や地域まちづくり交付金を活用し、地域に適したデジタル化を地域と市で連携して進めていきたい。

4. 高校生の外来医療について

青山

高校生の年代を含む子どもたちが安心して健全に過ごすことができる環境整備として、入院に加えて外来医療費についても高校生の年代までを負担ゼロとしてはどうか。

三木市

高校生の外来医療費助成については、市の子育て施策全般のなかで検討してまいりたい。

5. 敬老会お祝い金等の見直しについて

青山

今回の敬老会の各項目の減額または削除の理由についてご説明をいただきたい。

三木市

今まで当市が北播磨管内でも手厚く助成してきた施策を見直したまたは廃止しようとするものですが、これらに代わって高齢者の健康・生きがいづくりなど、地域福祉の推進につながる取り組みを検討していく。

上記5項目の意見・提言について、意見交換が行われました。これ以外にも書面で回答を受けているものもあります。全地区の市政懇談会終了後に三木市ホームページにも公開されますのでご覧ください。また、詳細につきましては、各自治会長にお聞きください。

青山地区ラジオ体操

7月23日
～8月7日



ソーシャルディスタンスをとりながら心地良い汗をかきました。

廃品回収

毎月第4日曜日



整然と分別されている様子は皆さんの意識の高さがうかがえます。

花ンティア



美しく咲き誇る花々はメンバーによる日々の手入れの賜物といえます。

年末警戒

12月25日



自分たちの住む地域を知り、自分たちで見守ります。

ハロウィン

10月



各丁目ごとに工夫を凝らして開催し、ハロウィンを盛り上げました。

文化祭

11月12日



各種団体の発表や講演会など久しぶりに活気のある文化祭となりました。

青山地区自主防災訓練

11月27日



もしもの時に備える防災の基本について身をもって体験できました。

◆ 青山ほっぺ/子育て交流広場(毎週月曜日)

◆ 青山コルテス/子育てママの情報広場(毎月1回)

◆ 防犯パトロール(毎月第2・4金曜日)

本年度中止となった行事

◆ 青山夏まつり(8月) ◆ 敬老会(9月)

◆ 運動会(10月)